

RSウイルス感染症



RSウイルスとは？

RSウイルスは世界中に存在し、地理的・気候的な偏りがなく、どの地域においても毎年流行が見られます。夏～冬にかけて流行し、ウイルスはノドや気管支などの呼吸器に感染します。

- ・**感染経路**……飛沫感染、手指を介した接触感染。
- ・**潜伏期間**……感染してから発症するまでの潜伏期間は4日程度とされている。

症状

基本的には症状が軽く風邪症状が出てきます。

持病がある乳児や子供は重症化しやすい！！

1歳ぐらいまでの小さな子どもの場合、細気管支炎につながって呼吸がしにくくなる呼吸困難を起こし重症化する可能性があります。また気管支喘息の子どもでは、RSウイルスに感染すると、喘息発作が誘発されます。



感染予防

RSウイルスは飛沫感染、接触感染します。外出後は必ず手洗いもしくは手指消毒を徹底しましょう。マスクの装着も忘れずに！



以下の場合に注意が必要です。

- ・受動喫煙の環境
…たばこの煙は気管を刺激して症状がひどくなる可能性があります。
- ・人の出入りが多い場所(保育所、学校など)
…大人は感染しても症状が軽く自覚症状がないことも多くあるため、人の出入りが多い場所や保育所などで感染が広がるリスクがあります。利用の際は感染対策を徹底しましょう。

(参考)

厚生労働省ホームページ「RSウイルス感染症」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-15.html>